

フェブキソstatt錠「ニプロ」 を服用される患者さんへ

医師・薬剤師のみなさまへ

- 下記の患者さんについて、本剤は禁忌となります。

2. 禁忌(次の患者には投与しないこと)
2.1 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
2.2 メルカプトプリン水和物又はアザチオプリンを投与中の患者[10.1 参照]

- 指導箋は1枚ずつはがしてご使用ください。

本剤の実際の使用に際し、
詳細は電子添文等をご参照ください。



フェブキソstatt錠「ニプロ」 を服用される患者さんへ

10mg



20mg



40mg



PTPシート(縮小70%)、錠剤(実物大)

このお薬について

フェブキソstatt錠「ニプロ」は、尿酸の生成を抑制することで、尿酸値(血液中の尿酸濃度)を下げるお薬です。
高尿酸血症や痛風の治療に用いられます。

このお薬を飲むときの注意点

- お薬を飲み始めた際に、痛風発作が起こることがありますが、そのままお薬を飲み続けてください。(尿酸値が急激に下がると、それがきっかけで痛風発作が起こることがあります。痛風発作が起きた際に、お薬を急に止めると、かえって発作がひどくなる場合がありますので、そのままお薬を飲み続けてください。)
- 痛風発作の治療については、医療機関を受診いただきか、あらかじめ指示された痛み止めなどを併せてお飲みください。



次のような症状が急に現れたときは、
医師や薬剤師にご相談ください。

- 全身がだるい ●食欲がない
- 皮膚や白目が黄色くなる ●全身の皮疹や発疹
- 動悸 ●多汗 ●下痢や便秘

このほかにも気になる症状が現れた場合には、
医師または薬剤師にご相談ください。



その他の注意事項

- 飲み忘れた場合は、できるだけ早く1回分を飲んでください。
ただし、次の服用時間が近い場合は、次回まで待って飲んでください。絶対に2回分を一度に飲んではいけません。誤って多く飲んだ場合は医師または薬剤師にご相談ください。
- 医師の指示なしに、自分の判断で飲むのをやめないでください。
このお薬は、少ない量から開始し、目標の尿酸値に下がるまで段階的に量を増やしていきます。自己判断でお薬を止めたり、量を変更したりすると、症状の悪化や再発につながります。指示された量を守り、毎日きちんと飲み続けましょう。
- 高尿酸血症や痛風の治療は継続することが大切です。定期的に診察を受けながら、根気よく治療を続けましょう。



施設名

製品に関するお問い合わせ先

ニフロ株式会社 医薬品情報室

 **0120-226-898** 受付時間 9:00~17:15
(土・日・祝日・その他弊社休業日を除く)

指導箋等の取り寄せサイトはこちら ➡
(医療関係者向け)

<https://order.nipro.co.jp/items>

